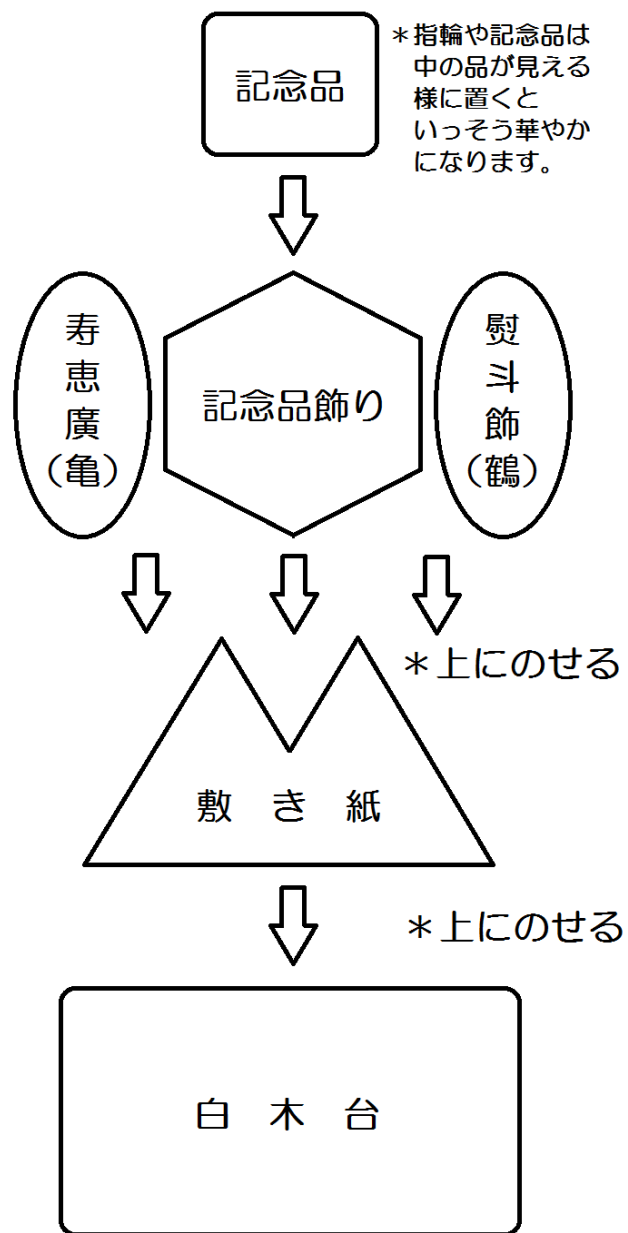
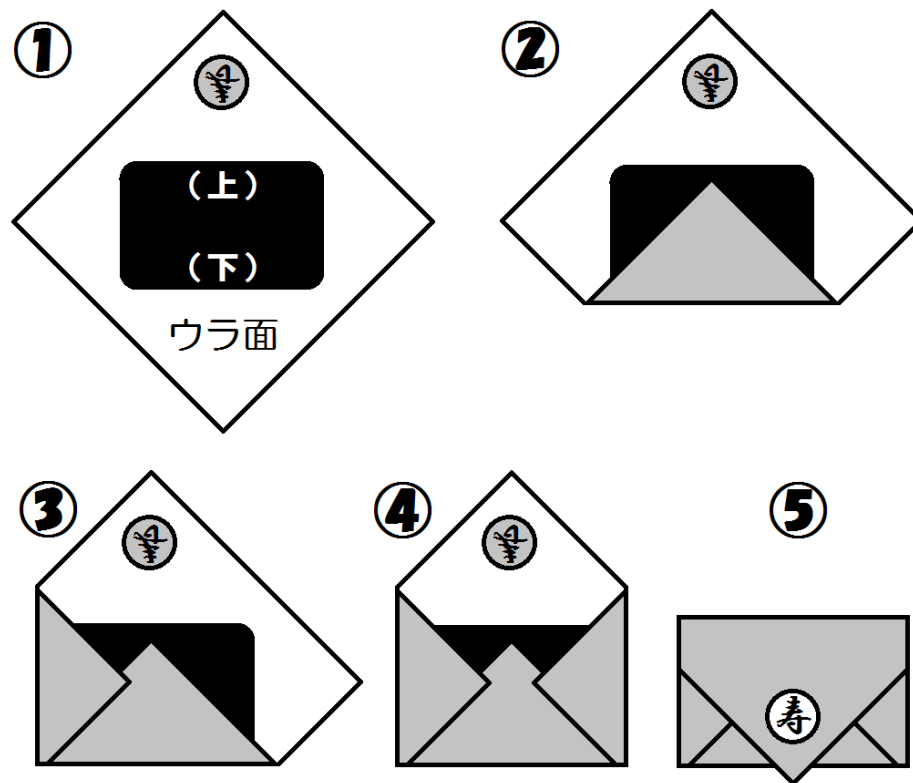


【記念品セット並べ方】



【正絹風呂敷での包み方(慶事)】



- * 正絹(白山紬)の風呂敷は結ばず、図のように、家紋や主柄を自分から見て奥になるように裏返して広げ、品を包んで持参します。
- * 包むもの(中身)の大きさの目安は、風呂敷の対角線の約3分の1程度が一番包みやすい大きさとしてされています。
- * 風呂敷は、カバンと同じです。お相手にさしだす直前に自分で風呂敷を解き、中の品だけをお相手に向け直してお渡し下さい。